



# ちきゅう見聞録

～ 香大生 back at home ～

**流田果歩**  
さんは  
**見た!**

## Vol.8 オーストラリア

### 西オーストラリア州パース



西オーストラリア大学のCentre for English Language Teachingという機関で8/27～9/28までの**5週間の語学研修**を受けました。授業は月～金の午前から午後にかけての2コマで、放課後は自由でした。私はSinging ClubやJAPSSOCというクラブに入っていたので、放課後はそれらの活動をしたり、学校が開催してくれるツアーに申し込んだり、友人とパースの街を散策したり、様々なアクティビティを楽しみました。また、ホームステイをしていたので、現地ですべて生活している家族の様子も見ることができました。そして、何か困ったことがあればホストファミリーに相談することができたのでとても助かりました。



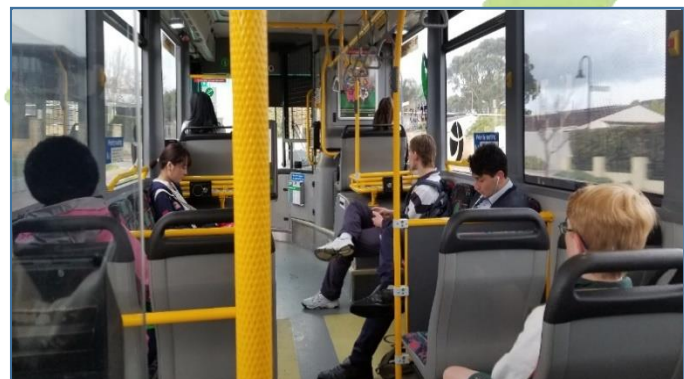
- ◎教育学部国際理解教育コース3年
- ◎2018年8月末～9月末の5週間、西オーストラリア大学英語研修に参加

- 【面積】 約769万km<sup>2</sup> (日本の約20倍)
- 【人口】 約2460万人 (2017年)
- 【民族】 欧州系、中東系、アジア系、先住民など
- 【宗教】 キリスト教52%、無宗教30%
- 【言語】 英語
- 【首都】 キャンベラ



戦争があったことを伝える**モニュメント**が町の様々な場所に設置されていました。この写真のモニュメントはキャンパスがあった最寄り駅前の交差点の歩道に設置されているものです。第一次世界大戦からベトナム戦争まで、いつそれらが行われたのかが記されています。このように町に溶け込むようにあるものから、住宅地の真ん中に大きな広場があり、その中心に塔が建てられているものもありました。キングスパークにも第一次世界大戦・第二次世界大戦の慰霊碑があります。悲惨な戦争があったのだということを、戦争を体験した世代だけではなく全世代がふとした時にも思いを巡らすことができるように、そして忘れない為に、町のあらゆる場所にモニュメントや慰霊碑が設置されているのではないかと思います。

**キングスパーク&ボタニックガーデン** この広大な公園はパースの中心部からバスで程近い場所にあり、昼はピクニックで賑わい、夜は野外ステージが開かれることもあります。市民の憩いの場となっています。9月にはちょうどワイルドフラワーフェスティバルが開催されていて、たくさんのワイルドフラワーが見頃を迎えていました。敷地面積が非常に広くて、ツアーの後にはくたくたでした。パースの町が一望できる場所があり、昼の景色はもちろん、夜景もとてもきれいでした。



**バス** 停留所のアナウンスはありません！通学に毎日バスを使っていますが、何度降りなきゃいけないバス停を通り過ぎたことか…。ゾーン制で、1回バスか電車に乗ると、払った金額分以下のゾーン内だったら2時間乗り放題です。前から乗り、ICの人は機器にタッチを、現金の人はドライバーの方に自分の行きたいゾーン分の金額を払うという前払い制です。路線は番号で示されていますし、比較的大きなバス停ではどこを通過していくのかを細かく書いてくれているので、慣れてしまえばわかりやすいです。他にも、市街地へ行く無料のキャットバス(循環バス)もあります。